

下市田区 令和6年度地元町議会議員と区民の懇談会（令和7年2月15日）

<記録2：温泉施設リニューアル>

会場から

町民からの意見の中には、基本設計から実施設計に持っていくのに、このままの基本設計でいいのかっていう意見も結構あります。意見募集から基本設計を考え、実施設計に持っていく、このスケジュールがあまりにも時間がなくて、町民への情報公開もほとんどないまま進められ、それで予算が上げられてしまうということに、ものすごい心配を持っています。まだ2月20日が町民からの意見募集の締め切りで、この後も意見が出てくるという状況です。

それから検討委員会が5回あったのですが、5回目が1月22日で、その会議記録がアップされ公開されたのは2月7日の夕方。この日に町長の予算査定の公開検討委員会があって、その日の夕方なんです。なので町長との話の時にも発言もできなかったのですが、会議記録がそこまでずれ込んできて、開示されて中身を見てびっくり。5億円で始まったのが、いろんなこういう施設が欲しいという意見を入れてきたらグレードアップしていったって、理想の最高の形が15億円のこの形ですって示されて、町長はもうこの15億円でいきますって言って、3月の補正予算に上げますって言うてる。ちょっと待ってくださいよ、全然情報も分からない、考えている筋道も分からない、意見もいろいろある中で、なんでそんなことが町で一挙に進められちゃうのっていう。何でこんなことになってしまうのか。議会基本条例をせっかく作ってるんだから、ぜひ町民の声をしっかり聞けるような体制でまちづくりを進めてもらいたいなと思うんですが、そののところ、何とかありませんかね。

北沢幸保議員

基本設計というのは、工事の全体の見積もりが出る、基本設計の中身を積算することによって工事の全体の工事費が出てくるというところで、まだ基本設計ができていないので最終的な金額はまだ決まってないと。それなのに3月の議会の初めに議案が出て、基本設計料、それから令和7年度の工事費がもう予算として出てきます。金額が決まっていないのに、なんでそんな設計料が分かるのかと、まずその疑

間です。ですので、きちんと手順を踏んで、町民が判断できる時間をしっかり取って、その後、議会に上程するべきだと私は思います。

三浦喜久夫議員

まず公開予算査定の中で、補正 7 億 9 千万円ぐらいを盛り込む予定であるという報告は、私も予算査定に出て行って、ああ、そうなんだっていうことを聞いたところ。まだ議会には正式に町から 3 月の補正予算にそういったものがいくらかかっていうところは全然伝えられておりません。でも 2 月の全員協議会の町長あいさつの中で、臨時交付金を取るために令和 6 年度から着工しているものを継続していなければという条件があると。一応とりあえず 15 億円というマックスの工事費が出てきている中で、その臨時交付金を取るためには補正予算を上げて、着工、ある程度設計を進めていかなければならないという話を聞いております。ですので 15 億円の半分が交付金、残りの半分期債と町の負担で、最終的に 4 分の 1 の 3 億 5 千万円ぐらいが町の負担になるという話を、あいさつの中で言っておりました。

設計については検討委員会の中で、これは駄目あれは駄目ではなく、とりあえず最大限のものを盛り込んで、あのような形になったと。これから、そんなにお金をかけては駄目だっていう話になれば、多分削っていきながら、そんな話を検討委員会もしながら、また 2 月 20 日までがパブリックコメント OK という段階ですので、それを受けてまた基本設計の修正にかかるのかなと私は想像しています。

小川修議員

これは町の将来に関わる大事な問題でありますので、慎重に対応していかなければならないと思っております。私個人としては、どうせ建てるのならしっかり金をかけてつくる方がいいんじゃないかと思えます。ただ、湯ヶ洞の立地条件を見ますと、真ん中に流れている沢に土管を入れて、その土管がくさってきて、そういうところまでリニューアルしなきゃならんというような話を聞いておりますので、そこを慎重に対応する必要があるんじゃないかと思っております。

小沢恵子議員

町民の方から伺っている話としては、身体的なことだったり個人のコンプレックスで温泉を使えない方が、眺望の良いレストランができれば、自分は温泉には行けないんだけど、ランチを友人と楽しむ場所ができれば、すごくうれしいという声が届いています。

元々5億円で、そこへあれやこれや入れていったら予算が上がっていったということですが、確かにたくさんの意見を見ても、「やるべきではない」という意見よりも、「これが欲しい」という意見がとても多くなっていう印象です。

ただ、いいものを作っていただきたいとは思いますが、利用料はいくらになるかが気になっています。800円とか1000円とか、いいものはできたけど利用料がすごく高いよってなってしまうと、町民福祉から少し遠くなってしまうのかなと思うので、生活の中で疲れを癒したりとか、本当に生活のそばにあるものを考えると、500円、600円で入れるような施設でいて欲しいなっていうのは個人の思いでもあります。特別な場所になってしまったら意味がないと思うんですよね。やっぱり生活の一部として使える施設であるために、自分たちも見ていかなければいけないところかなと思っています。

三浦喜久夫議員

議会基本条例ができて、町民の声を聞く時間があるのか、実際に時間が取れるのかというところですが、これから1年の間に実施設計まで入ってくるんだろうと思うんですけど、このタイトなスケジュールの中で、どこで町民の声を聞く時間をしっかり取れるのかっていうところ、これは町の話聞きながら、議会へもそういったことを伝えて、皆さんの声を聞く時間を取るっていう話を議会の中でもしてもらえるように持っていきたいと思っております。議会基本条例で「町民の声を聞く」というのはメインに盛ってありますので、できるだけその方向に、私どももしっかり議会へ行って話をしたいと思っております。

会場から

私も町政にうといので、やっと最近知ったんですけど、いくつか心配があります。1つは今、湯ヶ洞は温泉が出てないって聞いてるんですけど、どうなっているのか。温泉が出なければ、あそこに作っていく必要があるのか。

それから、ハザードマップ上、あそこは土砂災害警戒区域になっていると思うんです。多分、湯ヶ洞ができた時には、そんなことを言われない時代だったと思うので良かったと思うんですけど、今この時代になって、これだけ災害があって、しかも地震とかそういうものは明日来ると思えみたいな話もさっきあったぐらいなので、そんな危険なところに、それだけのお金をかけて作っていいのかっていう心配があります。

温泉が出ているのであれば、何らかの形をとって上手にそこを避けていくっていうのもいいかもしれないんですけど、もし温泉が出てないんだったら、あえてそこへ15億円もかけて作っていくことはない、私は実は反対なんです。でも、この反対ですっていうのを、今までどこで言えばいいかも知りませんでした。なので今日初めて反対って言いました。

それと、町民が利用していくのに、何であんなにたくさん人が泊まれるようになるのかなっていう。観光で多くの人たちに高森を知ってもらって利用してもらおうっていう方法であるなら、それはそれでいいと思うんですけど、町民が町民として一番利用していく。そしたら、そこへお金をかけるより、やっぱり温泉として楽しんでいく施設の方の充実にかけるべきだなって思います。

会場から

今、湯ヶ洞の件についていろいろご意見が出てますけれども、もうちょっと広い意味で見ると、サッカー場が出来上がり、クラブハウスも改修しました。MIZBEステーションもどんどん出来てきて、これからの課題としては湯ヶ洞もあり、公民館の改修だとか、やがては庁舎の改修ももう段々と計画が立たっているようです。そういうのを全体的に把握していただいて、本当にこれで高森町でやっていけるの？というところまで、ぜひ議員の皆さんの方でつかんでいただきたいと思います。

おります。

新しい箱物が出来上がっても、あと維持費だとか、その他経費がいっぱいいりますよね。こんなに箱物を作って、どんどん進めていって、本当に大丈夫なのかな。皆さんそういうふうに思いませんか？ やはり議会基本条例に基づいて、もうちょっと時間をかけて、町民の皆さんの意見を聞いたりしながら進めていけるように、議会の体制もきちんとして進めていってほしいなと思います。

とにかく町の全体のことと考えて、湯ヶ洞だって1本で絞っちゃうじゃなくて、もっともっと大きな目で見て、全体を考えながら、本当にこの高森町としてやっていけるのかなというところまで考えて、議会へぜひ要望したいと思います。よろしくをお願いします。

会場から

何人か意見が出ていますので、私の中では2点。1点は、この設計図を見た時に、簡単に言うと温泉付きのサウナ、それでビジネスホテル。飯田下伊那の中にそういう施設がないからってというような観点で、ましてや15億円かけてこの場所で開始するってこと自体、私には理解できません。温泉が出ていて従来のように町民の福祉になり、常会や仲間で自由に使える施設であるならばいいですけど。実際の運営はどこがやり、どういう収支になるか、入湯税を含めて、これ全然見えてない。普通はその見積もりも含めて、こういう方向ですということが出て初めて、町民はそれについて考えるんですけど、いきなり2月7日に検討委員会の報告が出て、一方的に昨日の新聞でマスコミに15億円の改修っていう報道が出てました。これでは住民無視も甚だしいです。議会基本条例等の観点から言ってもですね、やっぱりもうちょっとじっくり考えて、考え直した方がいいと思います。

2点目は、ぜひ再度、別のところへ作ることも含めて、もう一度原点から立ち返って見直した方がいいと思いますので、ぜひ検討してください。

北沢幸保議員

先ほど温泉が出ていないというご指摘、ご質問がありました。井戸の中はカメラ

で確認して、水だかお湯だか溜まっていると。それがポンプを付けて出てくるのかどうか、それによって、出なければ入湯税が入らない。入湯税は以前、振興公社が運営していた頃は1千万円超える税金が町に入っております。ですので、お湯が出るか出ないかは本当に経営に大きく影響してきます。

そして今度ビジネスホテルのような改築をすると、駐車場が足らないと。この15億円の中には駐車場は入っていません。そこに駐車場をつくれば3億円ぐらいかかるというようなことも出ております。

それからサウナに水風呂を併設して、水風呂は水道だと水道料がかかるので井戸を掘っていきたいと言っていますが、以前、バイオマスボイラーを作った時も井戸を掘って、2度掘ったんですが2度とも出てこなかったという場所です。ですので、果たして井戸水が使えるのかどうかもはっきりしておりません。

そんなまだまだ分からない情報がたくさんあるので、予算を議決せずに、情報をしっかり明らかにしていただいて、町民が判断できるような状況を作っていく必要があると思っています。